

第3章 地域コミュニティの活性化事例(先進事例等)

本章の概要

次に、第2章で抽出・整理した検討課題を踏まえ、その解決の参考となるような県内事例や県外先進事例について、現地ヒアリング調査を行い、アンケート調査や既存の文献資料、インターネット情報からだけではつかみにくい各団体の活動実態や取組みのポイント等の把握を行った。

本章では、そうした現地ヒアリング調査の結果を中心に、先進事例等の具体的な取組内容や、取組みのポイント(成功要因や仕組み)等をまとめ、そこから、今後の地域コミュニティの活性化(その実現・成功)に必要なキーワード(活性化のポイント)を導出・整理した。

本章の構成

- . 事例調査の基本方針
- . 県内事例調査
 - 1 調査対象
 - 2 船島コミュニティ(東海市)
 - 3 平針南学区連絡協議会(名古屋市天白区)
 - 4 十三番組(幡豆町)
 - 5 成岩第三区コミュニティ推進協議会(半田市)
 - 6 若園地区コミュニティ会議(豊田市)
 - 7 東明地区(瀬戸市)
 - 8 下萱津(甚目寺町)
- . 県外事例調査
 - 1 調査の概要
 - 2 古都学区連合町内会等(岡山市)
 - 3 南御厨地区自治会(磐田市)
 - 4 常盤平団地自治会(松戸市)
 - 5 蒲生地区まちづくり協議会(東近江市)
 - 6 陽東地区連合自治会・南中久保自治会(宇都宮市)
 - 7 大山自治会(立川市)
- . 先進事例等の活性化のポイント

事例調査の基本方針

事例調査の実施にあたっては、以下のような手順、内容で行った。

	県内事例	県外先進事例
選定方法	県内アンケート調査において、第2章で整理した6つの課題に関連した特色ある取り組みを回答してきた団体を抽出し、その中から、特に、ヒアリングにより、個別に、その取組内容の詳細を確認・把握する必要があると思われる団体を、有識者研究会における指導・助言等を踏まえ選定した。	各種文献資料やインターネット情報、都道府県等への聴取りにより、第2章で整理した6つの課題に対応した先進的な取組を行い、成功している（活動が活発化している）全国の先導的な地域コミュニティを抽出し、有識者研究会における指導・助言等を踏まえ選定した。
調査対象	船島コミュニティ（東海市） 事務局の組織運営・マネジメント力 平針南学区連絡協議会（名古屋市天白区） リーダー、ネットワーク 十三番組（幡豆町） 後継者養成、多様な参加者拡大 成岩第三区コミュニティ推進協議会（半田市） 多様な参加者拡大、課題解決 若園地区コミュニティ会議（豊田市） 多様な参加者拡大 東明地区（瀬戸市） 情報発信、帰属意識醸成、課題解決 下萱津（甚目寺町） 世代交代	古都学区連合町内会等（岡山市） 情報発信・共有、課題解決 南御厨地区自治会（磐田市） 多様な参加者拡大、課題解決 常盤平団地自治会（松戸市） リーダー、ネットワーク、課題解決 蒲生地区まちづくり協議会（東近江市） 多様な参加者拡大、情報発信 陽東地区連合自治会（宇都宮市） 多様な参加者拡大 南中久保自治会（宇都宮市） 組織運営・マネジメント力 大山自治会（立川市） リーダー、財政基盤、ネットワーク
調査時期	平成20年11月	平成20年12月～21年1月
調査方法	現地調査（各団体のリーダー等に対するヒアリング調査） 補足調査（書面、電話での聴き取り）	現地調査（各団体のリーダー等に対するヒアリング調査。併せて行政施策との関連性について把握するため、可能な限り当該市町村担当者にもヒアリング） 補足調査（書面、電話での聴き取り）
主な調査項目	基本的事項（組織の概要、基本事業） 特徴的な取組内容（経緯、内容、成果、評価（苦勞した点、工夫した点、自慢できる点等）、今後の課題） 行政との関係（県への要望等）	基本的事項（組織の概要、基本事業） 特徴的な取組内容（経緯、内容、成果、評価（苦勞した点、工夫した点、自慢できる点等）、今後の課題） 行政との関係（都道府県への要望等）

県内事例調査

1. 調査対象



2. 船島コミュニティ（東海市）

〈ポイント〉

事務局機能を強化し、組織的・継続的な地域活動を展開している事例（事務局発案による事業の企画・展開。事務局によるリーダーの支援・育成する仕組みの構築等）

〈東海市の概要〉

人口約 10.8 万人 / 面積 43.36km²

東海市は名古屋市の南に位置する全国でも有数の鉄鋼都市である。

昭和 30 年代に臨海部を埋め立て、鉄鋼を始めとした企業が立ち並び、その際、全国から多くの新しい住民が入ってきた。昭和 44 年の市制施行時には 7 万 8 千人であった人口が、昭和 50 年には 9 万 4 千人となり、地域の中では、ふれあいを中心とした住民交流の場が必要とされるようになってきた。

こうした状況の中で、昭和 53 年 2 月の緑陽コミュニティ推進協議会を始めとして、市内各地でコミュニティ地区が設立され、現在では、12 のコミュニティ地区が設置され、そこを基盤として、住民同士がお互いに助け合い、協力し合って、住みよい地域づくりに向けた取組みが進められている（各コミュニティ地区の区域範囲は、児童、老人が行動できる範囲である小学校校区を単位としている）。

〈団体の取組概要〉

団体名	船島コミュニティ（1987 年度設置）
地区概況	都市・農村混在地区
団体概要	対象エリア：船島小学校区（人口 5,475 人） 構成員：区域に住所を有し、各町内会・自治会の会員であるもの、または、趣旨に賛同する区域内の在勤者及び法人（これに準ずる団体を含む） 役員構成：会長（町内会・自治会長の順番制）、副会長（船島市民館長ほか）、会計監査、専門部長（町内会・自治会長の順番制）、専門副部長、事務局長・会計・書記（会長が構成員のうちから経験者を選出し指名） 基本事業：各種団体及び行政機関との連絡調整、住民相互の交流を深めるための事業、生活環境を向上するための事業、住民相互の助け合いの事業、子どもを守るための事業等
特徴的な活動概要	地域の多様な主体（町内会・自治会・小中学校・各種地域団体）により組織体が構成 ・コミュニティの組織は、町内会、自治会に加え、地域内の各種団体も含めたものとなっており、これにより地域住民が一体となった協力関係とそれぞれの役割分担が明確になり、地域ぐるみによる活動がより活発に行われている。 小中学校との連携体制の構築 ・コミュニティの拠点施設である船島市民館は、市内で唯一、小学校の敷地内に設置されており、このメリットを活かして、学校との連携を積極的に行ってい

る。例えば、学校を通じての地域住民への情報提供の実施（学校だよりにコミュニティ主催の地域活動の記事を掲載など）や、諸行事開催時における資材・機材の準備支援や駐車スペースの提供支援など。また、市民館利用者に学校内の不審者への目配りをお願いするなどにより、学校内の安全確保を図っている。

事務局主導による組織的な活動の実施

- ・会長は各町内会長・自治会長の輪番制であるが、事務局長、会計、書記の主要な事務局ポストは経験者から選出されることとなっており、事務局機能が継続的・組織的に力を発揮できる体制を構築している。
- ・特に、現在の事務局長は12年着任しており、経験を生かした新たな活動の企画や実践を行っている。その事務局の取組みの一つとして、事業運営マニュアルを作成し、総会資料に掲載している（事業の計画的・継続的な実施、地域活動ノウハウの蓄積・継承）。
- ・事務局発案の事業として代表的なものとしては、下校時の子ども見守り活動がある。これは、学校帰りの児童を狙った事件が全国的に増加してきた中で、地域で子ども達を守るために、市内の他のコミュニティに先駆けて2005年から実施している。パトロール隊の名称は、見守る子どもたちに親しんでもらえるものとするため、子どもたちから名称を募集し、「船っ子マモリーズ」と命名された。後に市からこの活動に対し助成金が交付されている（東海市コミュニティ地域活動団体育成事業）。

地域リーダーの養成・発掘

- ・会長は、毎年、各町内会長・自治会長の輪番制としている。新しい会長には経験豊かな事務局が強力でバックアップするとともに、副会長も、船島市民館長や旧専門部会長といった経験者から選出する仕組みとすることで、活動・運営面で支障が出ないようにしている。併せて、会長職を様々な人に経験してもらい（リーダー人材の養成）その中から新たなリーダー人材を見出すこと（リーダー人材の発掘）も可能としている。
- ・また、団体構成員である町内会・自治会の役員も輪番制のため、若い人（20～30代）が会長になる例も増えてきており、そうした人材がいずれはコミュニティの会長にも輪番制により就任するなど、段階的なリーダー育成も可能としている。

その他

- ・運営委員会で各地域からの問題を出し合い、地域にどのような課題が出ているかを共有している（地域課題の発見・共有）。
- ・市内の他のコミュニティ会長の集まる会議で各団体の活動や課題解決の取組み等について情報交換・意見交換を実施している。
- ・コミュニティとして、広報紙を定期的に発行している（情報発信）

3. 平針南学区連絡協議会（名古屋市天白区）

〈ポイント〉

強力な地域リーダーを中心とした精力的な活動の実施
地域内の多様な団体・人材との連携・ネットワークの形成（地域活動への取り込み）
地域活動の継続的な情報発信

〈名古屋市天白区（平針南学区）の概要〉

人口約 16 万人 / 面積 21.62 km²

名古屋市天白区は名古屋市東南部にあり、緑区や日進市、東郷町などと接し、住宅地の性格が強い区である。市全体の人口が、ここ数年微増している中、天白区の人口は、市平均を上回る増加率が続いており、市内 16 区中 5 番目の人口となっている（2008.4.1 現在）。

このうち、平針南学区は、県の運転免許試験場周辺に位置し、県営平針住宅を含む地区である。比較的、豊かな自然に恵まれているが、近年は県営平針住宅の建て替えと土地区画整理事業地内での住宅建設が進んでおり、環境が大きく変わりつつある地区である。

学区内の人口 6,071 人、世帯数約 2,400 世帯（うち県営平針住宅は約 1,300 戸）

当初は、団地だけの地区であったが、区画整理で広がっていき、中には交通動線的に分断された地区も出てきている。

特に、県営平針住宅を中心に、近年、居住者の高齢化と新住民の増加による新旧住民の混在化が進行しつつあり、ショッピングセンターが撤退して地域内に生鮮食料品店がなくなる等の環境変化の中で、それらに対応した地域づくりが課題となってきた。

その反面、地域活動は活発な地区であり、平針南学区連絡協議会の中核的組織である平針団地自治会（平針南学区のほぼ全世帯（約 2,000 世帯）で構成）や地域福祉推進協議会を中心に、高齢化に対応した多様な地域活動を展開している（市内でもまとまりのある地区の一つとされている）。

学区連絡協議会

- ・名古屋市では、地域住民相互の交流を図り、連帯を高めていくため、学区内の各種団体で構成する「学区連絡協議会」を組織してもらい、地域の円滑な運営を図っている。
- ・市では、平成 17 年度から安心・安全・快適まちづくり活動補助金制度を創設し、9 つの補助金を統合し、学区連絡協議会に対して交付している。

〈団体の取組概要〉

団体名	平針南学区連絡協議会（1981 年度設置）
地区概況	都市的
団体概要	対象エリア：小学校区（6,071 人） 構成員：区政協力委員代表、民生委員代表、保健委員会代表、小学校 P T A 代表、婦人団体代表、子ども会育成連絡協議会代表、老人クラブ代表、団地自治会代表、学童運営委員代表、新婦人代表

	<p>役員構成：会長（１名） 副会長（若干名） 会計（１名） 監査（２名）</p> <p>構成員の互選により選任、任期１年、再選可</p> <p>基本事業：庶務部（会員との連絡、総会及び役員会の開催、予算決算、各部相互及び学区内諸団体との連絡等）、広報広聴部（市区政広報への協力、学区内の広報、住民の市区政・学区自治に関する要望のとりまとめ）、災害対策部（災害対策住民調査、危険箇所の調査等）、社会教育部（町美運動、青少年の健全育成、環境改善運動等市民運動の推進、地域住民の自主的な社会教育活動の振興、スポーツ・レクリエーションの普及奨励）、保健衛生部（公衆衛生思想の普及、衛生行政への協力、公衆衛生事業の実施等）、社会福祉部（各種公共福祉募金、老人クラブ・子ども会の育成援助等）、防犯部（街灯の設置管理、夜警計画等）、防火部（防火諸設備の確保等）、その他（婦人部、青年部、交通安全対策部等）</p>
<p>特徴的な活動概要</p>	<p>強力な地域リーダーを中心とした地域活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現会長は、自治会長を30年間務めており、自ら、他団体との連携や多様な人材の地域への取り込み等に精力的に動き、現在の地域のまとまりの基盤を築き上げている。 <p>誰もが気軽に地域活動に参加できる仕組みを構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望する地域活動に参加できる仕組みとして、「実行委員会方式を取り入れている。具体的な委員会としては、「文化活動委員会」と「産直推進委員会」を立ち上げている。 ・「文化活動委員会」は、「おもしろセミナー」と題して、遺伝子、郷土史、ごみ対策、国際問題など、住民に関心のあるテーマで講座を開いている。 <p>地域課題への自主的な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンターの撤退により、地区内に生鮮食料品店がなくなり、住民の高齢化も進んでいたことから、朝市を開き、産地直売会を開催している。産直業者は自分たちで各地（中川区、知多豊浜、長野県中川村など）を回り、自主的に開拓・依頼した。毎週、産地直売の開催を宣伝カーで住民に周知している。宣伝の原稿もアナウンスも自分たちで行っている。 <p>定期的・継続的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、学区のニュース（新聞）を発行している。会長自らが企画し、原稿も作成しながら、30年以上続けている。上記の産直に関する情報提供もこの中で行っている。 ・会長の見識としては、情報伝達手段としては、自分の家に残る印刷物が一番効果的である、と考えている。また、地域づくりの根幹は情報の共有であり、情報の共有なくしては、地域づくりはありえない、という見識でいる。 <p>他団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の様々な活動団体との連携を行っており、最近では、でこぼこ山自然クラブと連携して学区内にある「でこぼこ山」の整備など自然環境保全活動を行っている。この活動を行うにあたっては、名古屋都市センターの「平成19年度まちづくり活動助成」に以下の活動内容を提案・応募し、採択され、助成金

の交付を受けている（自主的な活動資金の確保）

提案事業名「平針南学区 自然とくらす地域づくり」

…住民共通のくらしの基盤となる「自然」をテーマにした活動を地域ぐるみで行うことにより、住民が利用しやすい豊かな自然環境の保全を行うとともに、地域活動への関心を引き起こし、交流を図るもの

- ・大学との連携に関しては、以前に名古屋大学の宿舎が地域内にあったことから、大学の先生と個人的なネットワークを構築。そのつながりを活かし、コミュニティセンターで行う講座などの講師を依頼している。
- ・会長の見識として、活動を活発にするためには、いろいろな団体を上手く連携することが必要であり、地域活動のアウトソーシング的な連携があるといいのではないかと考えている。

4 . 十三番組 (幡豆町)

〈ポイント〉

祭の保存活動を通じた地域活動の展開及び地域活動の担い手（後継者）の育成・発掘

〈幡豆町の概要〉

人口約 1.3 万人 / 面積 26.05 km²

幡豆町は西三河の東に位置し、蒲郡市、吉良町、幸田町に面している。北部は三ヶ根山系の山間地であり、市街地は海岸沿いに東西に形成されている。

人口は減少傾向にあり、高齢化も進んでいる（高齢化率は約 24%）。また、国道 1 号や JR 東海道本線、名鉄名古屋本線といった交通幹線から外れているため、急速な都市化は起こっていない町である。

西幡豆村、鳥羽村、寺部村、東幡豆村の 4 村が合併した町であり、旧村単位に大字が形成されている。現状の地域の単位は、大字の中に組が形成されており、その下に区が形成されて、地域活動の単位となっている。

〈団体の取組概要〉

団体名	十三番組
地区概況	市街化区域
団体概要	対象エリア：組（大字寺部の中にある組。十三番組と十四番組がある） 構成員：大字寺部十三番組に居住する者 役員構成：組長、副組長、区長、副区長、駐在員（組長と役場とのパイプ役） 基本事業：祭の保存（200 年ほどの歴史のある太鼓の伝承）、道路・川・水路の掃除、農業用水の管理
特徴的な活動概要	祭の保存活動を軸とした地域活動 ・祭の保存会で太鼓（200 年ほどの歴史があり、幡豆町内でも最も歴史がある）を伝承しており、30 歳代、40 歳代が中心となって行っている。 ・祭りの実施にあたっては、「保存会」と「年行事」という組織があり、「保存会」は太鼓や「おたび」（舞）の伝承を、「年行事」は祭りの運営を行っている。 ・また、「保存会」に入っていない人で組織する「竜宮会」が、ボランティア的に祭の運営を支えており、多くの地域住民が、いずれかの形で祭に関わってもらっている。 ・祭りの翌週には反省会兼慰労会を行い、交流をより深めている。 ・組として、道路維持、水路の維持、川掃除などを「おやく」といって行っている。農地への用水管理は「池係」が行っている。これらの活動は、地域の道路や川の維持はもともと地域が行うのが当たり前という考えで行っている。 ・こうした祭の保存活動を通して地域のまとまり・絆を強め、様々な地域コミュニティ活動にも参加してもらっている。 世代交代・地域リーダーの発掘の仕組み ・組役員は、以前は、70 歳代が主力だったが、若返ったほうがいい、ということ

で若返った経緯がある。

- ・祭りの伝承も兼ねて、小学4年生から男子は太鼓、女子は笛を体験させ、高校を卒業後には、「保存会」に入ってもらう仕組みとしている（ただし、中学、高校と参加者は少なくなっている）。
- ・祭の実行組織「年行事」の長は必ず若手にやらせることとしており、そこで経験をつませるとともに、次期役員候補の人材の見極め・発掘も行っている。

防災訓練を通じた地域交流

- ・防災訓練などは14番組と合わせて2組で大字単位（寺部）で実施している。
- ・子どもも含め200人程度参加している。
- ・自警団による放水訓練、炊き出し等を行っており、こうしたことにより、さらにコミュニケーションが深まっている。

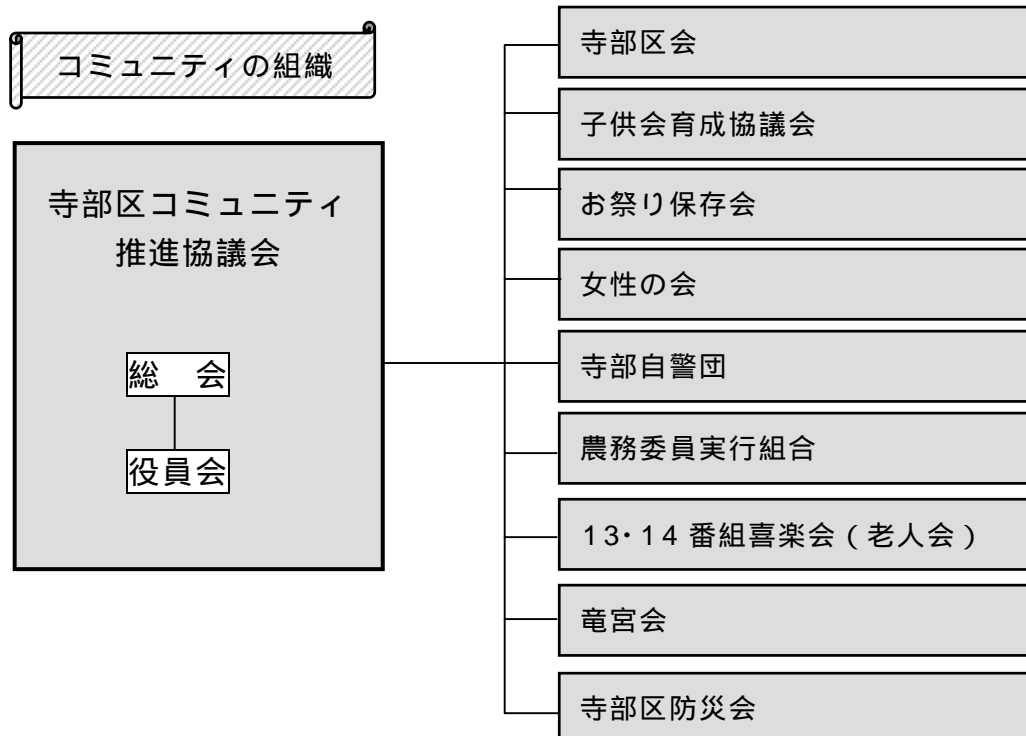
地域住民名簿の作成（入れ替わりの少ない地域。住民の抵抗感もない）

- ・もともと住民の入れ替わりが少ない地域ということもあり、地域住民の名簿を自分たちで所有している。これらは個人情報ではあるが、名簿作成にあたって、住民の抵抗感は特になく、今のところ、役場から名簿をもらわなくても問題はない状況となっている。

コミュニティの概要（幡豆町提供資料より作成）

寺部区コミュニティ推進協議会の概要

- ・13番組は寺部地区に含まれ、14番組と併せて、寺部区コミュニティ推進協議会を組織
- ・協議会の目的は、コミュニティ推進計画の策定と事業の推進、コミュニティ推進活動の調査研究、行政機関及び各種団体との連絡調整等



5 . 成岩第三区コミュニティ推進協議会（半田市）

〈ポイント〉

一線を退いた「おやしパワー」を地域で活用（地域課題改善への発信者を目指す）

〈半田市の概要〉

人口約 12.0 万人 / 面積 47.24 km²

知多半島の中央部に位置する知多地区の中心都市で、商・工・農のバランスの取れた産業都市である。

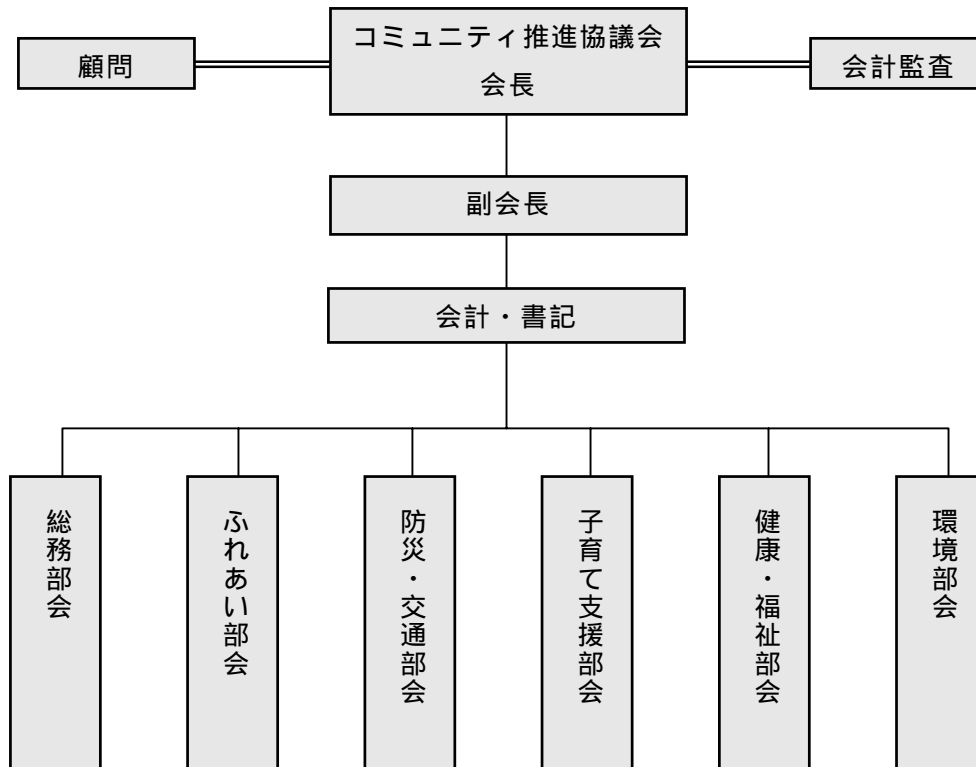
中部国際空港の開港により、人口は増加している。

現在、半田市には 42 の自治区（コミュニティ組織）があり、それぞれ地域に密着したさまざまな活動を行っている。

〈団体の取組概要〉

団体名	成岩第三区コミュニティ推進協議会（1984 年設置）
地区概況	都市的
団体概要	<p>対象エリア：自治区</p> <p>構成員：区内住民、各種団体から構成（自治区を主体とした地区住民によるまちづくりのための組織）</p> <p>役員：会長（推薦制）、副会長、会計、書記、会計監査、顧問（県議、市議）</p> <p>基本事業：資源回収（ごみの減量と資源の再利用に向けた取組み）、運動会等の文化体育事業や交通安全及び防犯活動</p>
特徴的な活動概要	<p>団塊世代等による地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内は、高齢化や新旧住民の混在等により、人間関係が希薄化。自治会加入率も低下し、防犯・防災・環境保全・地域福祉・交通安全・青少年の健全育成等の面で課題となっている。本来こうした課題を改善すべき立場にある地区自治会は、区長等の役員の任期が 1 年と短く、中長期的な対応するのは困難な状況にある。このため、1 年の任期を終えた代々の区長経験者が中心となって、定年退職者等からなる「神戸おやし会」を結成した。 ・ おやし会では、地区役員と協調した未入会者への勧誘活動や、青少年の健全育成を図るための見張り役、「美しいまち」づくりのために地域全体にゴミ移動ステーション方式を拡大させるアドバイザー役や、民生委員と協調して独居老人や生活・災害弱者への相談役等を務める等、任期の短い区長では限界のある活動を展開している。 <p>子育て支援の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の安全管理の問題の検討や、園児のふれあい活動を行うための会（はないち会）を結成 <p>集団回収による資源化貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が自治組織内の各種団体を統合した形で資源回収に取り組んでおり、地域住民のリサイクル意識の高揚をはかり、ごみの減量と資源の再利用に貢献

成岩第三区コミュニティ推進協議会の組織構成



6 . 若園地区コミュニティ会議（豊田市）

〈ポイント〉

生涯学習を通じたコミュニティ活動の参加拡大

〈豊田市の概要〉

人口約 42.4 万人 / 面積 918.47 km²

豊田市は、愛知県の中央に位置し、自動車産業を中心とした都市である。平成 17 年に 1 市 4 町 2 村が合併し、県内で最も広い都市となった。

地区コミュニティ会議は、中学校区を単位として、26 地区設置している。

各地区のコミュニティ会議は、議決機関である総務会の決定のもとに、住民主体で運営されている。

2005 年に地域自治区条例を施行し、2006 年から地域会議を設置している。

地域会議は、地域の課題の発見、課題解決策のまとめなど、考えを働きかける主体として位置づけられ、地域コミュニティ会議を含む地域自治区は、考えを実践する主体として位置付けられる。

若園地区は、高岡地域自治区に所属している。

〈団体の取組概要〉

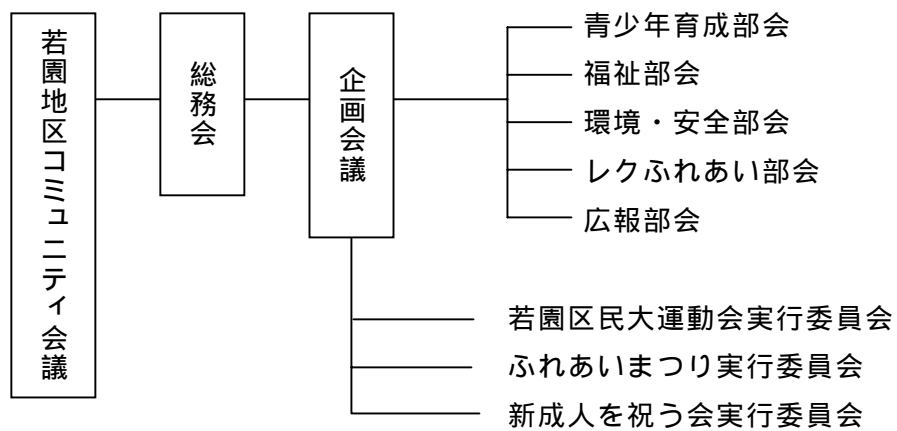
団体名	若園地区コミュニティ会議
地区概況	住宅地
団体概要	対象エリア：中学校区（人口 14,224 人） コミュニティ会議は各中学校区に設置 構成員：地区の住民、関係団体、関係機関で構成（町、小中学校、PTA、こども会、民生委員、老連会、人権擁護委員等） 役員構成：会長（1 年ごとの輪番制）、副会長、会計、書記、会計監査 基本事業 ・自治区、各種団体、各種機関等の活動状況情報の交換・連絡調整。活性化、共通課題解決に向けた協議、学習等 ・地域の青少年健全育成、福祉の向上、環境と安全、スポーツ、文化に必要な情報交換・諸事業等
特徴的な活動概要	事業の継続性の確保 ・各部会は、副部会長を 1 年経験後に部会長を 1 年務める仕組みとしており、経験者が必ず役員にいる形にしている 生涯学習を基軸としたコミュニティ活動 ・地域づくりに関係する多様な生涯学習講座・イベントの開催等により、地域住民がより関心を持ちやすい、参加しやすい仕組みとしている 外国人との関わり ・外国人を講師にした講座を開催し、外国人に対する理解を深めるとともに、相互交流を促進

積極的な情報提供

- ・ホームページによる活動状況や予定の情報提供
- ・会議の会報「コミュニティ広場」や交流館の館報「わかぞの」を定期的に発行・ホームページへの掲載

若園地区コミュニティ会議の概要（同会議提供資料より作成）

若園地区コミュニティ会議の組織構成



7. 東明地区（瀬戸市）

〈ポイント〉

地域の地場産業を守るという地域住民に分かりやすい共通テーマの設定のもとで活発な地域活動を展開（それを情報発信）

〈瀬戸市の概要〉

人口約 13.3 万人 / 面積 111.61 km²

瀬戸市は名古屋市東に位置し、北を岐阜県に面し、尾張旭市、豊田市に隣接し、瀬戸焼で有名な都市である。

名古屋市に近い西部は住宅地開発が進んできたが、中心市街地の人口動向は停滞傾向にある。地域力向上プランを策定するなど、交流学び課を置き、市民交流に力を入れている都市である。

現状の地域の単位は、18 の自治会（連区）、339 の町内会により組織されている。自治会への加入率は 80～85% となっている。また、そのほか、市民活動が活発に行われている。

〈団体の取組概要〉

団体名	東明地区
地区概況	都市・農村混在地区
団体概要	対象エリア：自治会連区（人口 3,489 人） 構成員：会員 77 人（地域外住民の加入も可） 役員構成：代表幹事、会計監査、委員長、副委員長、事務局 基本事業 ・赤津マップの作成、穴窯陶芸展の開催、秋の陶芸祭・春の茶の湯展の開催 ・赤津川クリーンアップ作戦（清掃活動）
特徴的な活動概要	積極的な広報活動 ・団体ホームページを開設し、定期的な更新により積極的に情報発信を行っている（行政のホームページとも相互リンク） ・同ホームページや地域のミニFMを通じてイベント・清掃活動等の情報提供・参加者を募集している ・地域情報誌「赤津読本」の自主出版（ホームページ上でも公開） 自主財源の確保 ・イベント開催時のワンコイン基金、地元銀行の地域振興基金の補助等 分かりやすい地域の共通テーマのもとでの地域活動の展開 ・地場産業である窯業の保護をテーマに、環境美化活動、イベント等、地域活動を活発に展開

8 . 下萱津（甚目寺町）

〈ポイント〉

若い世代のうちから役員を経験させることで円滑な世代交代を可能としている

〈甚目寺町の概要〉

人口約 4.0 万人 / 面積 9.33 km²

住民の声を「夢」としてまちづくりに反映させる「対話の町政」を掲げ、町民の声を広く聴き対話を行い、住民との協働を推進してきた。

現状の地域の単位は、大字・学区単位・園区単位と複雑化している。

最近の傾向として町内会加入率は、平成 3 年 89.5% から平成 15 年 76.2% と年々減少傾向

コミュニティ組織は大字単位で組織されているが、コミュニティ組織が結成されているのは 2 つのみである。

〈団体の取組概要〉

団体名	下萱津
地区概況	都市・農村混在地区
団体概要	<p>対象エリア：大字（人口 4430 人）</p> <p>構成員：下萱津地区に居住する住民</p> <p>役員構成：域内の 2 つの区の区長が、それぞれ大字の区長、コミュニティの会長を務める仕組み（任期 1 年）</p> <p>基本事業：盆踊り大会、親子・友人卓球大会、公園等清掃活動、映画会、コミュニティ防災センターの指定管理</p>
特徴的な活動概要	<p>加入率向上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋を組でまとめて役場から購入する仕組み等により、加入率の向上につながっている。 <p>役員の効果的な世代交代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員を 1 年間の輪番制として若者世代にも早くから経験させている。役員経験者が新役員へ助言することが慣習化し、円滑な事業実施が可能

```

graph TD
    H[会長] --- HC[副会長]
    H --- R[理事]
    H --- S[監事]
    HC --- O[運営部会長]
    O --- A[会計]
    O --- G[総務部会]
    O --- CS[文化体育部会]
    O --- EH[環境衛生部会]
    O --- DS[防災安全部会]
    CS --- RT[住民 各種団体]
    EH --- RT
    DS --- RT
    G --- RT
    
```